



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 420 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2025年3月1日

3月号の内容



- ◆ スタートアップ研修開催報告 P1-2
- ◆ 令和7年度(第42回)静岡県臨床検査精度管理調査 P3
- ◆ 会員投稿 P4
- ◆ 臨床検査関連研修会 P5-9
- ◆ 行事予定 P10

スタートアップ研修開催報告

「技師会を知ろう！」をテーマに、2025年2月15日(土)、静岡市葵区のARTIE(アルティエ)・Boloにてスタートアップ研修会が開催されました。今年度も、新人から入社6年目くらいまでの検査技師を対象に、若手技師同士が職場での悩みなどを気軽に話し合い、情報交換できるような機会を作れないかと企画しました。県内各地域より40名が参加し、静臨技理事16名と合わせ56名(懇親会では58名)の開催となりました。

第1部は、羽切会長より今回の研修会の目的である「横のつながり(他院の仲間)を作ることの大切さ」のお話がありました。続いて原副会長の「レッツボーリング！」の掛け声の後、ボーリング大会が始まりました。各チーム3~4名でチーム対抗戦です。チーム内で自己紹介した直後は少し緊張した様子でしたが、ゲームが始まれば声を掛け合ったり、笑い声が上がっていました。





第2部は、日本臨床検査技師連盟 副代表 三宅氏、自由民主党 哇元氏、日本診療放射線技師会会長 上田氏からお言葉をいただきました。上司に聞けなかった時でも今回のメンバーに聞くことが出来る、そのような仲間を作ること。将来、私達が働きやすくなるために、取り巻く環境を変えていく事が必要となることがある。その時に技師会の要望を信頼して依頼できる人脈が必要となること。将来を見据えたお話をして頂きました。



第3部は、懇親会です。第1部のボーリングとは違うメンバー構成で配置されたテーブルで、食事をしながら情報交換をしました。途中で自己紹介の時間を設け、まずは理事より仕事内容の紹介を、続いて参加者全員の自己紹介をおこないました。参加者の中には、職場の技師長からも「研修会に参加した後に、連絡を取り合うことが出来る仲間を5名は作ってくるように！」と発破を掛けられて参加している者もおりました。懇親会中に、あるテーブルで今回の研修の感想を尋ねたところ、「楽しかったです！」「参加して良かったです！」「5人情報交換出来ました！」と返答があり、コミュニケーションが充分取れたグループで、大変良い雰囲気を感じさせてくれる中で感想を聞くことが出来ました。将来、頼もしく感じます。

多くの知り合いや仲間を持つことは若い世代でも、また私達のようなベテランの世代でも大きなメリットとなっていく事と痛感しました。今後の参加者皆さまのご活躍に期待いたします。最後に、今回の研修会に参加された皆様、お疲れ様でした。



令和7年度(第42回)静岡県臨床検査精度管理調査

令和7年度（第42回）静岡県臨床検査精度管理調査

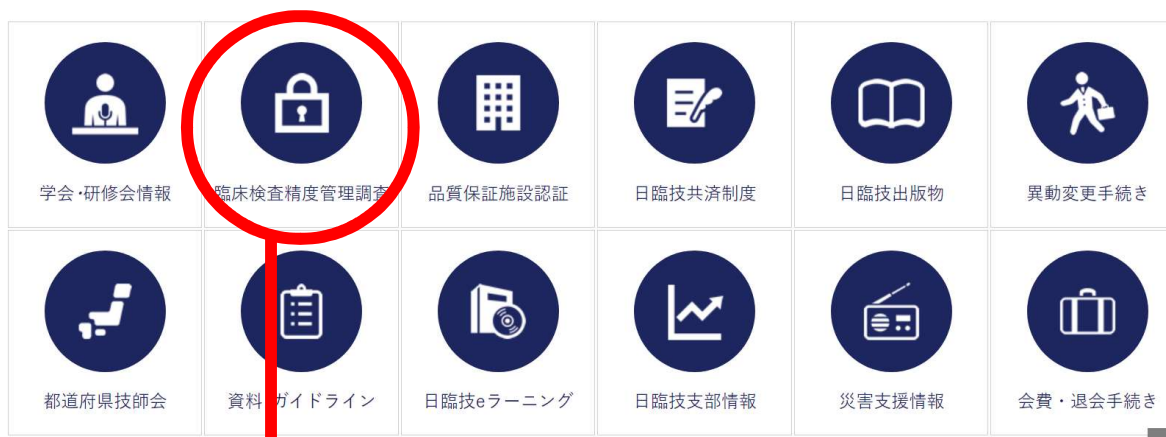
参加申し込み受付中！

参加申込期間：令和7年3月3日（月）～3月14日（金）

日本臨床衛生検査技師会のホームページからの申し込みとなります。

参加費支払期限：4月30日（水）

※ 詳細は、2月中旬に静臨技より発送された申込要項をご確認ください。



臨床検査精度管理調査

▶ JAMTQC 参加施設向けシステム

▶ 都道府県用精度管理システム 概要

▶ 都道府県用JAMTQC使用申請書申請方法

日本臨床衛生検査技師会
精度管理事業・データ標準化事業システム
JAMTQC
参加施設向けシステム

施設番号

パスワード

>>> ログイン

>>> 施設登録のない方 >>> パスワードを忘れた方

ログインガイド >>>

Copyright©日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved.



ちょっと重い話？

匿名希望

友達の友達の話しです。

彼女は〇〇年ほど前の30代後半、言われた仕事はなんでも引き受けていました。ちょうど日本医療機能評価の初回審査も控えていて、院内感染対策や輸血業務のマニュアル整備に院内を駆け回り、とにかく何でもできると思っていた。

毎日が楽しくて仕方なかった。

ほんとに怖いものなど無く、私がやらねば誰がやる！と思っていました。

何でもかんでも引き受け、頼まれたことが少しずつ滞っていきました。一日がしか無いことを忘れていたようです。



24時間

少し前に、入れ替わり人事があり、昨日まで上司だった主任が今日から部下になりました。

それでも、ストレスって何？状態で、肩で風を切って歩いていました。(笑)

入れ替え人事から一年弱の2月ごろ、髪が抜け始めました。耳の高さの後頭部に大きなハゲが出来ました。境界不明瞭な円脱は周りに浸潤していきます。パラパラと・・・

自施設の皮膚科にかかり、ステロイドローション、液体窒素・・・止まりません。

車で二時間に開業医に行き、漢方薬、物理療法・・・止まりません。

〇一ブ〇1の体験版では、さらに抜けるのでお勧めしめませんと断られました。

その足で30万円の人毛ウィッグを買って帰りました。

夏には全身の髪というか毛がすべて抜けてしまいました。まつ毛が無いと目にゴミが入ります。

でも、まだ原因不明です。ストレスなんか無いし、どうしてだろう・・・

秋になり、外来の看護師さんと外科の先生と何気ない話しをしていた時、急に涙が止まらなくなりました。いつもはハゲを笑って話していたのに・・・その看護師さんから、人前で急に泣くのはおかしい、休みなさい！と言われ、「私がおかしいんだ」と初めて自覚したそうです。

その日は一日休みをもらい、次の日から、頼まれていた仕事を少しずつ返し始めました。みな「大丈夫だよ」と一つ返事で了承してくれました。私しかできない仕事なんか無い事を知りました。

それから、白い産毛のような毛が生え始め、年明けにはベリーショートでウィッグを脱ぎました。今でも襟足付近に円形脱毛症が出たり消えたりを繰り返しているそうです。

彼女の持論は「**ストレスを自覚できないと身体が悲鳴を上げる**」

「**ストレスを自覚するのを怖がってはいけない**」あくまで、彼女のお話です。

先日、動悸・頻脈・振戦からバセドウ病が発覚し、そんな話を思い出しました。

研修会終了報告

事業名	令和6年度 第3回臨床一般部門研修会
開催日	2025年2月1日
会 場	Webex
参加人数	44人
内 容	<p>はじめは、アークレイマーケティング株式会社の菊池先生をお招きし、尿定性と沈査の解離の原因や、ピットフォールについて30分ご講演いただきました。</p> <p>14時から、静臨技会員の尿沈渣スキル向上を目的とし、事前に12/15～1/15の期間で実施したフォトサーベイの解説・報告会を実施した。</p> <p>今年度は例年同様の出題形式にて行ったが、前年度よりも赤血球形態、円柱、異型細胞の正答率が低下してしまった。各セクションの講師の解説がわかりやすく、参加者たちの尿沈渣業務を行う上で役立ててもらえたらと考えている。</p> <p>フォトサーベイ解説講師一覧 赤血球・白血球：聖隷沼津病院 高島 麻倭子技師 上皮・異型細胞：浜松医科大学医学部附属病院 荻谷健也技師 円柱・結晶成分：静岡県立総合病院 田中佑佳技師 その他成分・寄生虫・総括：磐田市立総合病院 川井孝太技師</p> <p>講演時間 ちよūdoyい・・・38人 長い・・・5人 短い・・・1人</p> <p>研修内容について とてもわかりやすかった・・・33人 わかりやすかった・・・11人</p> <p>資格取得の意思 3年以内に受験したい・・・7人 今年受験予定・・・5人 取得済み・・・3人 資格取得の意思はない・・・29人</p> <p>一般検査経験年数 1年未満・・・7人 1年以上5年未満・・・17人 5年以上8年未満・・・7人 8年以上・・・14人</p>

研修会終了報告

事業名	令和6年度 第2回臨床微生物部門研修会
開催日	2025年2月8日(土) 14:00~17:00
会 場	Webex を利用した研修会 (事前登録制)
参加人数	35 人
内 容	<p style="text-align: center;">『テーマ』 明日から仕事で使える細菌検査のこと</p> <p>【研修会内容】 Web 型研修会での開催となりました。血液培養の検体採取量は精度管理上重要な指標されています。各種ガイドラインでもモニタリングを推奨しています。今回、血液培養ボトルの血液量調査とその実際と結果について報告をして頂きました。また、最新の CLSI 基準を満たした薬剤感受性試験の方法、その結果を基にした判定と報告書の作成について説明していただきました。</p> <p>【講演 1】 「当院における血液培養ボトルの血液量調査の取り組み」 講師：磐田市立総合病院 黒田 志保 技師 採血量の増減は検査結果に影響を与える因子であり、その結果を定期的にフィードバックすることが重要です。血液培養において採血量、2セット採取率、陽性率、1,000 患者/日あたり採取数、汚染率など ICT 活動などを通じてその品質保証の指標として利用されています。採血量の調査法や運用に多くの労力を割き非常に熱心に検討されていることが伺えました。採血量が少なくても多すぎても検出率の向上がみられず適切な採血量が存在することが理解できました。ICN など他部門との共有認識が必要であり採血量の管理が不可欠で重要性を考えさせられました。多くの施設で精度管理を含め、血液培養の品質を向上させるために取り組むべき必要性があると改めて認識させられました。</p> <p>【講演 2】 「実臨床で使える耐性菌検出の検査フロー」 講師：ベックマン・コールタージャパン 津田 慎太郎 氏 薬剤耐性菌の検出は、医療現場においてますます重要になっています。CLSI の基準値に基づく薬剤感受性試験(微量液体希釈法標準法)の原則について説明された。多くの施設で分析機を使用し、微量液体希釈法を用いて薬剤感受性試験を実施しています。分析機で耐性菌が疑われる場合は、アラートが表示され、確認試験のタイミングや方法、自然耐性(内因性耐性)を示す菌種と抗菌薬の組み合わせについて現状と共に詳しく説明されました。他社製品や用手法でも同様の確認試験が実施されるべきことが述べられました。最新の CLSI 基準を満たした報告書の作成の必要性が強調され明日からの実務で役立つ具体的な手法が多く紹介され、今後の業務に直接生かせる内容が多くありました。</p>

研修会終了報告

事業名	令和6年度 第6回臨床生理部門研修会
開催日	2025年2月8日
会場	静岡県立総合病院
参加人数	4人
内容	<p>今年度最後の臨床生理部門研修会は心エコー検査の実技研修会を実施しました。今後のシリーズ化を検討するため今回は最小人数で行いました。実技講師には静岡県立総合病院の鈴木駿輔さんに、事前アンケートをもとにエコー描出時の細かいプローブ操作や計測のポイントなど受講者に合わせた内容でご指導いただきました。スタッフとして見学していましたが、実技を受けない方でも非常にためになる内容で今後、見学者の枠を設けてより多くの方が参加できるように検討していきたいと考えています。</p> <p>また、心エコーに限らずその他のエコー分野でも同様の実技研修会を企画していく予定です。</p>



令和7年度 第1回 病理細胞部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【250000287】

テーマ	病理検査室のマネジメントを学ぼう！
開催日時	2025年4月19日（土） 13時00分 ～ 17時00分
会場	Web会場（Cisco Webex）
内容	<p>【講演1】 病理検査技師の新人教育 講師：静岡県立静岡がんセンター 本田 勝丈 技師</p> <p>【講演2】 HE染色と免疫染色の内部精度管理 講師：神戸大学医学部附属病院 吉田 美帆 技師</p> <p>【講演3】 遺伝子・染色体検査の技術と臨床への応用 講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 郡司 昌治 技師</p> <p>【講演4】 病理スタッフの安全を考える ～実体験から学んだことを共有します～ 講師：静岡県立総合病院 坂根 潤一 技師</p> <p>質の高い病理診断を提供するために必要な「教育」「内部精度管理」「医療安全」についてご講演いただきます。ベテランの方だけでなく新人の方にも役立てていただける内容になっております。皆様のご参加をお待ちしております。※認定病理技師単位承認研修会【A10点、B10点、D40点】</p>
備考	<p>開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。</p> <p>入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。</p> <p>研修会後のアンケート回答をもって研修会参加確定とさせていただきます。</p>
申込・振込期間	2025年2月1日 ～ 2025年3月31日
申込定員	180名
申込方法	<p>1) 日臨技 HP 会員専用ページから事前参加登録をお願いします。</p> <p>2) 事前参加登録後、下記口座へ受講料の振り込みをお願いします。 受講料の入金確認後、領収書を添付した Webex 招待メールを送信します。</p> <p>※ 振込依頼人情報には会員番号+入力可能な文字数までの氏名の入力をお願いします（例：123456 ヂズカカカ）</p> <p>※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
振込先	<p>静岡銀行 駅南支店 普通 口座番号 0966959 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 学術会計 代表 風間 文美代</p> <p>※振り込み手数料は各自でご負担願います。</p>
問い合わせ先	<p>病理細胞部門 部門長 内野 有子（富士市立中央病院） TEL：0545-52-1131 E-mail：shizuoka.byouri@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

第1回 静岡県乳腺画像診断 合同研修会

2025/3/8 SAT

定員120名

14:00～16:30 (13:30受付開始)

事前登録必要
会場参加型のみ

開催場所

静岡県立総合病院
つつじホール

乳がん検診や乳がん診療に
携わる方、興味のある方へ

医師・技師の皆さん
ご参加ください

14:00 開式

1 14:10-14:40
静岡がんセンター
植松孝悦

新しいタスク・シェアの業務を念頭においた
診療放射線技師と臨床検査技師が習得すべき
検診カテゴリーと診断カテゴリー

2 14:40-15:10
聖隷健康診断センター
吉田雅行

マンモグラフィ読影の基礎
楽しく学ぶ間違い探しの極意



3 15:20-15:50
富士宮市立病院
小倉廣之

画像診断について
乳腺外科医の立場から

事前申込
×切3/7
18:00まで

4 15:50-16:20
西焼津健診センター
五十嵐達也

画像診断について
放射線科医の立場から



16:30 閉式

主催：静岡県乳がん検診従事者研修会開催実行委員会
後援：静岡県放射線技師会
静岡県臨床衛生検査技師会

問合せ先:sshinobu@sis.seirei.or.jp
<http://shizuokammg.kenkyuukai.jp>

2025年3月～5月の行事予定

2025年

3月

28日（金） 第7回 理事会・常務理事会 : 静臨技事務所

4月

9日（水） 令和7年度 第1回静岡県臨床検査精度管理委員会 : Web開催

12日（土） 令和6年度 会計監査 : 静臨技事務所

12日（土） 令和7年度 第1回 学術部門長会議 : 静岡県産業経済会館+Web

19日（土） 第1回 病理細胞部門研修会 : Web開催

5月

23日（金） 第1回理事会 : 静臨技事務所

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

本報をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 久留島幸路まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 0538-38-5000

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技 HP ; 入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samt.jim@samt.or.jp

年度末で退会を希望される方へ

退会手続きを1月31日までにを行った場合は、2月27日に来年度の会費の引き落としは行われません。

2月1日以降に退会手続きを行った場合は、2月27日に来年度の会費が引き落とされますので、3月31日までに返金手続きを行ってください。（3月31日までに退会手続きが済んでいない場合は、返金が出来ません。）

令和元年の日臨技定時総会で日臨技加入条件に「都道府県技師会の加入が条件」として可決されたため、都道府県技師会を退会し日臨技のみ継続することが出来なくなりましたので、ご注意ください。

日臨技・静臨技共に退会される場合は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて日臨技と静臨技の両方を同時に退会処理してください。日臨技だけの退会処理では、静臨技を同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。

2025年3月吉日

編集後記 皆さま、お疲れ様です。三連休の大寒波、下田に雪が降ったそうです。河津桜も開花が遅れ、庭のめだかも氷の下で静かにしております。「君子蘭」って知っていますか？ 橙色の綺麗な和蘭ですが、玄関先はずっと放置していました。昔、父が育てていた鉢を持ってきたのですが、もう何十年も放置、最初は花が咲いた時もありましたが、そういえば何年も花をみていません。霜にあたり葉に皺が入ってしまいましたが、春になったら植え替えをしたいと思います。なぜかふと父を思い出しました。盆栽が好きで、阜月やエビネも育てていました。私の幼少のころの愛読書は「阜月界」でした。知っている方は少ないと思います(笑) まだまだ寒いですが、日照時間が長くなり、草木の芽は動いてきています。三月になったらめだか達も起きないと！寒いなかにも春の訪れを感じつつ、新年度を迎える活力を蓄えたいと日々思っております。（高橋）